



## 大賞受賞者 &amp; 指名企業



## インタビュー

日常の「困りごと」から、「新たなサービスの種」になりそうなエピソードを応募し、  
見事大賞に輝いた岡田さんと、岡田さんが指名した企業からの声をご紹介します！

## 困りごと

電車の待ち時間も有意義な時間にすることが  
できるスペースのデザインをしてほしい。

私は電車での通学時間が長く、待ち時間が長いときに困っていたので、それを解決してもらいたいと考え応募しました。スペースマーケットさんを指名したのは、多種多様なスペースを時間単位で借りられて、予約もアプリで簡単にできるからです。すでにテレワーク用のワークボックスがありますが、学生でも快適に過ごせて、災害などで電車が止まったときに、緊急で泊まれたりするといいなと思います。

今回の応募を通じて、自分の身の回りのいろいろなものが「困りごと」から生まれてきたんだと気づくことができました。自分の困りごとを元に、叶えたいアイデアをイメージするのも楽しかったです。応募の際は、そのイメージを具体的に分かりやすく言葉にするのが難しかったですが、いい勉強になりました。大賞に選ばれて、家族や友達からおめでとうと言ってもらえたのもうれしかったです。

大賞  
受賞者

群馬県立前橋商業高等学校  
岡田 彩葉さん

指名  
企業

株式会社スペースマーケット  
代表取締役社長  
重松 大輔さん

## 指名理由

駅の構内でテレワークができる  
ワークボックスの事業を行っているから。

私たちの会社では、「場所を貸したい人」と「借りたい人」を結ぶプラットフォームを運営しています。駅というスペースを有効活用でき、待ち時間の解消に役立つワークボックスは、岡田さんの「困りごと」の解決には最適ですし、高校生ならではの視点から、また新たなワークボックスの使い道が生まれるかもしれません。

当社が提案した「インドア花見」も、まさに消費者の「困りごと」から生まれました。お花見をしたくても花粉や寒さ、混雑は困るという方々のために、インドアのスペースを紹介するもので、テレビでも取り上げられてブームになりました。

高校生のみなさんも、ぜひ街に出かけて、歩いている人やお店の商品をチェックしてみてください。スマホの中だけじゃなく、いろいろなことに興味を持つことで新しいビジネスのアイデアがたくさん見つかると思いますよ。